

牛ふんたい肥の連用が土壌の理化学性に及ぼす影響

香西清弘・平木孝典

地力増強対策の参考にするため、水稻～タマネギの作付体系で、牛ふんたい肥の20年間にわたる連用が水田土壌(灰色低地土)の理化学性に及ぼす影響などを検討した。

1. 水稻の収量には牛ふんたい肥の施用による影響が認められなかったが、タマネギの収量は牛ふんたい肥の施用により増加した。
2. 牛ふんたい肥を連用することにより、土壌中の比較的大きい孔隙の割合が増加した。
3. 牛ふんたい肥を施用することにより、土壌の全炭素量、全窒素量及び陽イオン交換容量がほぼ直線的に増加する傾向が認められ、施用量が多い区ほど増加割合は大きかった。

キーワード:たい肥,土壌の化学性,土壌の物理性